

治療法

抜けてしまった歯の代わりになるものを挿入

乳歯の前歯が抜けてしまうと、見た目への問題はあってもありませんが、必ずしもお子さんの言語学習、食事、発音に支障が出るわけではありません。前歯や奥歯が抜けてしまったら、代わりに部分入れ歯(小児義歯、保隙装置)を装着することもできます。

予防的治療

3ヶ月おきの検診、シーラント装着、定期的なクリーニングなどを行って、歯の「う蝕」(むし歯)を予防する必要があります。

歯列弓(歯列の曲線)の修復

歯が欠けるようなエナメル質の形成不全がみられる場合は、これ以上歯に損傷がおよばないように、修復物を装着します。既製金属冠(乳歯冠)か、全部鑄造冠(いずれも歯冠全体を覆うもの)の装着を検討しなければなりません。

矯正治療

不正咬合(かみ合わせの悪さ)を正すために、矯正治療を利用することもできます。矯正力は弱めにした方がよいでしょう(状態によっては行えない事もあります)。

チーム治療

多職種連携の治療チームを作り、患者さんが高水準の治療を受けられるようにする必要があります。



低フォスファターゼ症(HPP)の患者さんには、こんな症状がみられます。

乳幼児の場合

- 重度の骨の変形
- 頭蓋骨の早期癒合
- 骨痛
- 筋力が弱い
- 腎臓の石灰化
- 吐き気と嘔吐
- 中枢神経症状(痙攣)
- 早産や流産
- 成長障害

子供の場合

- 骨が曲がる
- 骨痛
- 筋力が弱い
- 骨の炎症(非常にまれ)
- 低身長
- 消化器の異常
- 乳歯が早く抜ける
- 歩き始めが遅い
- 歩行障害(アヒル歩行)
- 肺炎

大人の場合

- 骨折、疲労骨折
- 骨痛
- 関節炎のような症状
- 偽痛風
- 歩くと疲れやすい
- 歯が抜ける

歯限局型低フォスファターゼ症

低フォスファターゼ症(HPP)の中でもっとも症状が軽く、歯だけに症状が現れます。



低フォスファターゼ症の会

TEL: 0561-76-1956

Email: hppsa@nifty.com

<http://hypophosphatasia.life.coocan.jp/>

HPPの患者さんと
ご家族の皆様、医療関係者の皆様のための小冊子

HPP治療の手がかりを求めて

子供の歯の早期脱落

低フォスファターゼ症(HPP)



「歯の早期脱落」はHPP(「低フォスファターゼ症」(*)という骨代謝に異常が出る難病)の症状です。

発行: Hypophosphatasia Germany e.V.

監修: Dr.Schlike, Dr.Finke, Professor.Schlagenhauf

日本語監修: 大阪大学 医学部附属病院 大園 恵一先生
東京歯科大学 水道橋病院 新谷 誠康先生

協力: Soft Bones
Finding the Key to HPP

※日本の行政では、『低ホスファターゼ症』と表記されています。

通常、小児期や青年期に健康な歯が抜けてしまうことはありません

遺伝形式

●常染色体優性遺伝 ●常染色体劣性遺伝

発生率

10万人に1人ぐらいの割合

重症度

HPPには軽症から致死型まで6段階があります。軽症の場合は、歯のみに症状が現れることがあります。

歯に現われる症状

- ：5歳未満の子供の乳歯（下あごの前歯が多い）が特に理由もなく脱落する。
- ：軽度の炎症がみられるか、特に異常はみられない。限局性の炎症はピロリン酸とプロスタグランジンに起因していることがある。
- ：セメント質の欠損。歯の早期脱落を招く。
- ：エナメル質の形成不全がみられることがある。その場合は、う蝕（むし歯）になりやすい。

セメント質の障害や欠損が歯と歯周組織（歯周じん帯）の強固な結合を弛緩させ、歯が脱落、喪失してしまいます。

HPPの症状が現れる時期が早いほど重症度が高く、永久歯よりも乳歯の脱落に気づきやすいです。